

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0174100487		
法人名	株式会社 育成		
事業所名	グループホーム育成会 長生の望・灯・楽 (灯ユニット)		
所在地	釧路市大楽毛南4丁目6番8号		
自己評価作成日	平成25年2月28日	評価結果市町村受理日	平成25年4月24日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0174100487-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0174100487-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の思いを共感出来るように、一人ひとりの意見を尊重し、自立支援に繋げるケアを行っています。施設内で安心して過ごせる事を考え、入居者様がリラックス出来る祭事や空間整備の環境作りを考えていきます。また、ホーム内の生活支援に終始せず、開かれたホーム運営を目指しております。その為、地域とのつながりを大切にして、地域社会としっかりと結びつき、改めて地域との共存共栄を図っていく所存です。取り組みとしては、行事等の参加で交流を深め、防災に関しては、地域町内会様のご理解やご協力もあり、地域の一人として取り組んでおります。

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
所在地	江別市大麻新町14-9 ナルク江別内
訪問調査日	平成25年3月18日

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

母体運営法人は釧路地区にグループホーム2事業所と小規模多機能ホーム1事業所を運営し、相互に協力関係を築いている。鉄骨造り3階建ての2階3階に各ユニットがあり、1階は多目的ホールとなっている。職員は利用者と家族の絆を大事にしながら利用者に寄り添い、日々笑顔のある安心した生活が送れる様に支援を行なっている。利用者同士も仲良く、互いをいたわりながらゆったりと、家庭的な雰囲気の中で暮らしている。温度・湿度調節をこまめに点検し、清掃にも気を付け、お風呂は排水口まで清掃され乾燥されている。敷地内の家庭菜園で育ったジャガイモやニンジン等を陽を浴びながら利用者みんなで収穫を楽しんだ。火災・防災・地震対策に力を入れ、緊急シェルターや3階から外階段を取り付け、太陽熱電気発電装置を設置し、災害有事に備えて備蓄もしている。事業所のイベントや防災訓練などに地域住民も参加し、地震の際には町内会から安否確認をしてもらうなど地域の協力も得ている。利用者は、地域の中でそれぞれその人らしい穏やかな生活を送っている。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

（別紙4-1）

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各ユニットや正面玄関に掲示しております。毎朝の申し送りの際に唱和を行い、周知実践に活用しています。また、新任職員には、理念の配布と説明をしております。	地域に密着した理念やケア理念を作成して、理念に即したサービス提供が行えるように、管理者と職員が毎朝唱和し、理念を共有し、実践に繋がっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	理念にも掲げているが、事業所として、地域との交流を大切にし、町内会にも加入している。町内会主催の行事には、利用者が多数参加し、顔なじみの関係も築いている。	行事を町内会と合同で開催して、多くの地域住民が参加している。「娯楽会・野遊会」など町内会行事と一緒に参加している。1階多目的ホールを地域に開放して、町内会の会合に利用してもらっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方が認知症についての相談に来られた事があり、支援の仕方の例とかあげ、助言し共有し合う事があります。また、運営推進会議で定期的に意見交換を行っており、認知症の理解や支援に繋がっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	東日本大震災以来、会議のテーマは防災についてが多い。町内会も防災に対しては行政との協力や連携を図っており、その情報を会議で報告して下さるので、大変ありがたく思っております。	包括支援センター・町内会・家族が参加して2か月に1度定期的に開催している。サービス向上に向けた話し合いや防災訓練の開催及び委員の参加への協力、地域との交流など具体的な話し合いが行われている。	現在参加する家族は家族会代表一名であるが、運営推進会議を通じたサービス向上にはより多数の家族の参加とその意見が必要である。行事に来訪する家族を勧誘するなどして、家族参加を増やすことを期待する。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当者は、国や道から下りてきた情報や連絡事項等を速やかに通知して下さります。運営推進会議の概要報告書は必ず提出しているので、ホームの実情は把握されているのではと思います。	法人の施設長と事務長が一体となり市役所・包括支援センターに出向いて実情を報告したり、助言を貰って信頼関係を築いている。また地震の際には市からメールで安否確認があった。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホーム全体で、身体拘束、行動制限を行わないよう取り組んでおり、スタッフが日常のケアの中で実践している。	事業所では法人研修や外部研修に参加をして、身体拘束の弊害を理解し、拘束を行わない介護について日々の実践で積極的に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は「言い訳ケア」をすることなく、日々のケアに取り組んでおります。利用者への尊厳と主体性を尊重し、虐待を正当化することなく努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	運営推進会議においても、包括支援センターより、知識や講習の日程などをお聞きし、理解を深めている所ですが、実際に活用できるまではなってはいません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の説明は十分にしており、理解をして頂いて締結しております。また、改定、変更がある場合にも、書面等や直接説明しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関には意見箱、アンケート用紙を置いています。また、ご家族の来訪時や電話、手紙などで利用者の近況を報告し、ご家族の要望等も頂きながら、サービスの向上に努めております。	家族の来訪時や電話連絡の時などを利用して、意見を聴いている。できた意見や要望を職員会議で話し合ったあとに、その結果を家族に経過報告をする。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	直接、施設長との面談もあるが、定期に開催している幹部会議の場で、スタッフの意見や提案を取り上げ、運営に反映しています。	職員会議の中で意見や提案を出しやすい雰囲気をつくり、みんなでよく話し合っている。その場で解決できない議題は幹部会議において解決している。職員と施設長との個人面談もおこなっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の実績に応じて、人事考課をし、キャリアパスを設け、向上を持って働けるよう努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修に参加して、研修内容をスタッフ会議や学習会で他のスタッフに情報の共有を図っています。実際に支援の中で実践し、確認、理解し合い、職員のスキルアップに努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会の研修会や交流会に参加し、事例検討をして、サービスの向上に取り組んでおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者が関わる、支援事業所や医療機関より、情報を提供していただき、ご本人の不安な事、求めている事を、安心して相談できる体制や雰囲気作り努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者が関わる、支援事業所や医療機関より、情報を提供していただき、ご家族の不安な事、求めている事を、安心して相談できる体制や雰囲気作り努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用相談や面談の際、必要とされる支援の見極めを行い、求められている支援について、職員全員で話し合い、初期の介護支援計画を立てます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で、個々の能力を活かした役割分担を行っており、ちょっとした工夫を利用者の方から教えて頂く事があります。互いに学び支え合う関係を築いております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的な連絡や面会、月に一回発行の通信物により、ご本人の様子を伝えると同時に、ご本人の要望を御家族へ伝えていきます。ホームの行事等がある際には、ご家族へ御案内し、共に過ごす時間を作れるよう働きかけております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚や、友人の電話でのやり取りや、来訪を快く受けております。ホームでのご様子をお伝えするとともに、お互いの情報交換を行いながら理解を深めてより良い関係作りを築いていただく。訪れたい場所があるならば、ご家族に連絡や、ホームでも対応できるような体制をとっています。	親戚や友人が訪問した時は、ゆっくり面談できるように配慮している。家族と一緒に墓参りや馴染みの理美容店に通うこと、近隣の散歩、隣町の自宅などへ出かけたりして馴染みの関係が途切れないように支援を行なっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者が互いに助け合い、優しい言葉をかけて、いたわり合って生活を共にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後を必要とされる対応を行い、気軽に相談できる体制と雰囲気作りを心がけております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いを職員間で共有し支援に努めている。困難な場合は、本人の言動を感じ取る努力を行い、検討しております。	ドライブ・散歩・外食・買い物など日常の関わりの中で利用者1人ひとりの意向や希望を把握し記録に残し、困難な人には本人本意に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ライフストーリーやセンター方式の活用。ご家族より情報を頂き、サービス利用の経過の把握にも努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の残存能力を把握し、体調変化や表情等を観察して、その人なりの暮らしができるよう努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御家族、ご本人の思いを聞き、職員全員で話し合いながら、利用者本位の介護計画となるよう作成しております。	担当制で対応し本人と家族の意見を聴き全体会議の中でモニタリングを行い、意見や要望を取り入れ、本人が快適に生活できるように介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の中で、体調変化、言動等を介護記録に記録し、職員間で情報共有しながら介護計画の見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	定期的に御家族と連絡を取り、外出や病院受診、ご本人の意向によっては買物等、ドライブ、見学を行い支援に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の行事に参加しており、地域住民との関わりを大切にしております。災害時や徘徊の対応など理解と協力をお願いしております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診では、ご家族との連携を図り、病院受診、緊急受診の対応を行っております。ご家族同行の時は、生活状況報告書等を作成し、適切な医療を受けられるよう支援に努めております。	定期受診は家族が対応するが、家族の要望で職員が対応することもある。家族受診時は生活状況報告書を作成して、かかりつけ医と関係を築きながら支援を行なっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的な訪看の際には、日常生活の状況及び治療経過の報告を行い、相談や助言を頂き、日常生活上の健康管理支援に努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際には、介護添書を作成し医療機関にお渡します。ご家族との連絡も常に行い、定期的な訪問も心がけます。現在の状況把握に努め、退院時の受入体制の整備を行い、スタッフ間で情報共有を行う。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	かかりつけ医や訪問看護師の連携のもと、ご家族との協力を得ながら「できる事」「できない事」を見極め、チームとして優しく実践していく体制作りを目指す。	事業所の方針を作成して契約時に説明している。具体的に家族からの話は出ていないが、訪問看護師やかかりつけ医と職員が方針を共有しチーム支援に取り組む体制を目指している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の緊急マニュアルを作成し、常に職員の早期対応出来るよう研修会議の際に確認している。2009年より、AEDを設置、使用方法も講習し分かりやすい使用方法のマニュアルも常備しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼夜の想定した訓練は定期的に行っている。どちらにしても、少数で消火、通報、避難誘導しなければならないので、訓練を積み重ねるしかない。訓練には近隣の方の参加もあります。	町内住民が参加して夜間も想定した災害訓練を定期的に行っている。新たにシェルターやソーラ発電を設置し、備蓄品なども準備して、火災・地震・津波に対応した取り組みがなされている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者一人一人の人格を尊重し、自尊心を傷つけないように真心で接するように努めています。また、個人情報については、事務所内の書庫にて保管、管理しております。	利用者1人ひとりの生活歴や生活状態を把握しながら、人格や、プライバシーを損ねることのないように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	安心できる環境作りをして、日々の会話の中で、何を思い何を願い何を求めているかを察する事が心がけています。個々に合わせて対応、説明していきながら、自己決定し納得して頂く。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	家族のような雰囲気大切に、ご本人のADLに添った思いや希望を優先して、「出来た」、「楽しかった」と喜びを共感し合える支援をしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容に関しては2ヶ月に一度、専門の方に訪問して頂いております。ご本人の希望がある場合は、馴染みの美容室へ行っています。整容の乱れなどご本人の自尊心を傷つけないように、さりげない声掛けを心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	直接的な食事の準備を行うことは困難ですが、食器の下膳、食器拭き、おしぼりたたみなど手伝って下さり、ご本人なりに出来る事を積極的に実施しております。	食事の準備や片づけなどを職員と一緒にやっている。菜園でとれたジャガイモやニンジンなどの野菜も食卓に上がり楽しく食事をしている。おはぎと一緒に作って、みんなでおいしく食べた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、水分、食事摂取量のチェックを実施。塩分や水分制限の方もいる為、全体的に薄味とし、栄養バランスが保てるよう支援しております。必要に応じて介助を行い、脱水を起こさぬよう、小分けに回数を増やす等、必要な水分量が摂れるよう支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施しており、ご自身で出来る方はご自身で、介助が必要な方には義歯、口腔洗浄等の介助を行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にて記録。プライバシーの確保に配慮し、トイレ内の環境も整えている。自力で行う事を大切に、排泄習慣をつけるよう支援しています。	排泄記録で個々の状況を把握し、プライバシーに配慮しながら声かけ、誘導を行い、トイレでの排泄を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々、排泄チェックの実施、便秘の方には必要に応じた飲食物を提供し、献立や調理の工夫に努めております。春先から秋頃まで、利用者の体調に合わせて外気浴等の実施、冬期間では、室内でのゲーム等、参加して頂き身体を動かす働きかけに取り組んでおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々に気持ち良く入浴して頂くため、本人の入浴の意向や体調を確認し支援しております。入浴を苦手とし拒否される方に対し、言葉を選びながら促しております。足にむくみがある方には、状況に応じて足浴を実施しています。	毎日入浴できる。入浴剤の温泉別色・香りを楽しんで気持ち良く入浴している。個々の状態に合わせた声かけを行い入浴を促しているが、無理強いはせずタイミングを見ながら勧めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活習慣に応じながら、その人なりに安心して気持ちよく休憩、睡眠ができるよう、定期的な寝具交換等、個々に合わせ配慮しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬ケースがあり、日々の服薬に関しては、手渡しにて確認している。特に服薬の変更があった場合は、職員間での周知を徹底しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の出来る事の役割を通して、ご本人の達成感を得られるものを提供し、入居者同士の協力態勢で喜びを分かち合え、張り合いの持てる生活が維持できるよう支援しております。		

グループホーム育成会 長生の望・灯・楽（灯ユニット）

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	定期的にドライブ等に出かけており、本人希望があれば買物などにも出かけております。	日常的に散歩や買い物に出かけ、敷地内で日を浴び体を動かして菜園や花壇などを作っている。ドライブなどで職員と一緒に動物園に出かけたり、また家族の協力で外出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望があれば小額を本人にお渡しし、買物の際には、自らお金の管理をして頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が希望される時や、定期的に御家族と連絡が取れるよう努めております。また、手紙の代筆なども頼まれます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間である、リビングには季節の飾り物などを置くようにして、季節感を取り入れながら過ごしていただけるよう工夫しております。	共有空間は明るく、季節感のある飾りが壁に飾られている。行事写真や事業所便り、利用者作品が飾られ。利用者は居室にこもる事なく、日中は居間でそれぞれの居場所で楽しく過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間である、リビングにはソファが二箇所あり、それぞれお好きな場所で過ごして頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れたもの馴染みのものをお持ち頂けるようお話しております。心地よく生活していただけるよう配置等は工夫しております。	家からテレビ、テーブル、椅子、位牌や仏壇等を持ちこみ、居室を和室として使用し布団を敷いたりしながら自宅での生活スタイルで過ごしている。洗面所とクローゼットが設置されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「出来る事」、「出来ない事」など、把握して見守り。声掛けにて自立した生活を過ごせるよう工夫しております。		